

① はじめのおいのり、または、さんび (なるべくみんなが知っているもの)

② 礼拝説教に関係した短いお話し ・出エジプト2の11～22

モーセさんはエジプトの王女様によって、王子として育てられて大人になりました。しかし、イスラエルの人々はずーっとエジプト人にいじめられて、苦しんでいました。ある時、モーセさんが外に出てみると、仲間であるイスラエル人が、エジプト人にいじめられているのを見ました。モーセさんは、かわいそうに思い、このイスラエル人を助けたいと思いました。又、そのエジプト人に対する怒りがメラメラと燃え上がってきました。そして、あたりを見回し、誰もみていない事を確認すると、そのエジプト人におそいかかかり、なんと殺してしまいました。そして、誰にも分からないように隠しました。モーセさんは、仲間のイスラエル人を助ける為にしたことで、神様も、仲間のイスラエル人もきっと喜んでくれると思いました。



次の日、また外に出てみると、今度はイスラエル人どおしなのに、いじめている人がいます。モーセさんは、「同じ仲間なんだから、いじめてはダメだ。」と言いました。すると、その人は「何いばっているんだ、誰が、おまえを俺たちのリーダーにしたんだ、おまえの言うことなんか聞くものか。おまえは、エジプト人を殺したように、おれの事も殺すつもりなのか。」と言いました。モーセさんは、「あの事がばれたんだ、王様は私をつかまえて殺すかもしれない。」と恐ろしくなり、遠くのみデヤンという土地まで逃げていきました。

モーセさんは、仲間のイスラエル人を助けたいという良い思いを持ちました。しかし、カッとなって怒りの気持ちでやったやり方は、神様の喜ばれるやり方ではありませんでした。私達は、たとえ相手の人が間違えていたり、悪い事をしていた時でも、まず心の中でお祈りして、神様からの愛の心を頂いて、神様の喜ばれるやり方、喜ばれる言葉をつかってする人になりましょう。

③ 聖書の言葉を2回告白しよう。

にゆうわ ころ ひと ただ
柔和な心でその人を正してあげなさい。

ガラテヤ6の1



④ わるいことをしている、まちがえたことをしている人をみたら

【1】やさしいところで ちゅういできるように その人も わるいことをしたなど きがつけるように、こころで おいのりする。

【2】その人をやっつける おもいではなく、おだやかな こころで 「そのことはよくないよとおもうよ。」とおしえてあげる。

【3】それでも、いうことをきかず わるいことを やりつづけているようだったら、たの人と いっしょにいつて ちゅういする。

【4】それでも、いうことをきかず わるいことをやりつづけていたら、おとなや、せんせい、けいさつにいう。

※ただし、命の危険がおよぶような特別な状況では、強い言葉、行動を通してとめる事が必要な時もあります。緊急な時こそ「神様 どうしたら良いですか、助けて下さい。」と神様の導きと助けを求めて心で祈りつつ、行動しましょう。

【参考聖書箇所】

- ヤコブ1の20/人の怒りは、神の義を実現するものではありません。
- マタイ18:15～17/また、もし、あなたの兄弟が罪を犯したなら、行って、ふたりだけのところで責めなさい。もし聞き入れたら、あなたは兄弟を得たのです。もし聞き入れないなら、ほかにひとりかふたりをいっしょに連れて行きなさい。ふたりか三人の証人の口によって、すべての事実が確認されるためです。それでもなお、言うことを聞き入れようとしないなら、教会に告げなさい。